

要 望 書

中央（雨水）ポンプ場改築事業について



令和3年11月

熊本県八代市

中央（雨水）ポンプ場改築事業について

日頃から八代市の下水道事業に御支援を賜り厚く御礼申し上げます。本市は、昭和48年から下水道事業に着手し、令和2年度までに事業認可面積に対し汚水で約82%、雨水で約35%の整備を完了し、早期の事業完了に向けて推進しているところです。

中央ポンプ場は、昭和53年度に供用開始した雨水ポンプ場で、官公庁や企業、商業施設が集まる中心市街地に降った雨を一級河川球磨川の支流の前川へ排出する重要な施設です。令和2年7月豪雨の際もフル稼働し都市部を浸水被害から守りました。しかしながら、施設の老朽化により、排水能力の維持が難しくなってきています。

そこで、本市は長寿命化計画を策定し、平成28年度から改築事業に着手し、令和4年度完了を目指し取り組んでいるところです。

円滑な事業推進のためにも引き続き国の援助が必要不可欠であることから、今後とも予算・技術の両面について一層の御支援をお願いいたし、併せて、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を確実に推進していただくと共に、その後も引き続き様々な自然災害に備えるため、継続して予算を確保し、計画的に国土強靱化を推進していただくようお願いいたします。

令和3年11月24日

八代市長 中村博生